

令和 6 年度の取り組みの進捗の報告等について

高知県工業振興課

第1回土佐和紙総合戦略推進会議 本会議

Agenda

01 令和6年度の取り組みの進捗の報告について

- 土佐和紙生産量調査の報告
- KPI達成状況
- 基本方針 1 ～ 3
 - ・全体像確認
 - ・各取り組みの進捗

02 次回_PT会（9月開催予定）に向けて

- ・各PT毎で、今後の取り組みについて確認・協議を行います。



01 令和6年度の取り組みの進捗の報告について

土佐和紙生産量調査の報告について

土佐和紙生産量調査内容

調査対象

R5年度分 20事業者
・手すき 13事業者（前年-1）
・機械すき 7事業者（前年-2）

調査期間

R 6 .
4～6月

調査項目

- ・生産実績
- ・出荷先
- ・従事者数
- ・用具の修繕状況
（手すきのみ）
- ・原料 使用量
New（使用量内訳）
- ・原料 在庫量

手すき紙生産実態調査票（令和5年度分）

工場名				所在地				記入日			
代表者名				電話番号							

製品名	生産実績(令和5年1月～12月)		
	数量(kg)	生産額(千円)	備考
障子紙			
表具用紙			
書道用紙			
手工芸用紙			
絵画・版画・印刷用紙			
紙加工品			
その他			
合計			

原料	種類	仕入先※	産地	使用量	原料の調達内訳			在庫全量 (残) R5.12/31	R6購入 希望量
					年間購入量	自家栽培量	在庫使用量		
楮	黒皮				(円)				(円)
	未晒				(円)				(円)
	白皮				(円)				(円)
みつまた					(円)				(円)
がんばん					(円)				(円)
木材パルプ									
わら									
竹									
麻(チョマ)									
故紙									
とろろあおい									
化学糊									

※仕入先については、①契約農家、②自家栽培、③JA、④原料商、⑤その他 から選択すること。 単位 kg

出荷先	出荷実績(令和5年1月～12月)	
	生産額(千円)	
組合		
問屋()		
問屋()		
企業()		
企業()		
個人()		
個人()		
個人()		
個人()		
個人()		
輸出(間接輸出を含む)		
合計	0%	0

従事者状況 人 R5.12/31時点	男	女	計
20歳以下			
21～30歳			
31～40歳			
41～50歳			
51～60歳			
61～70歳			
71～80歳			
80歳以上			
合計			

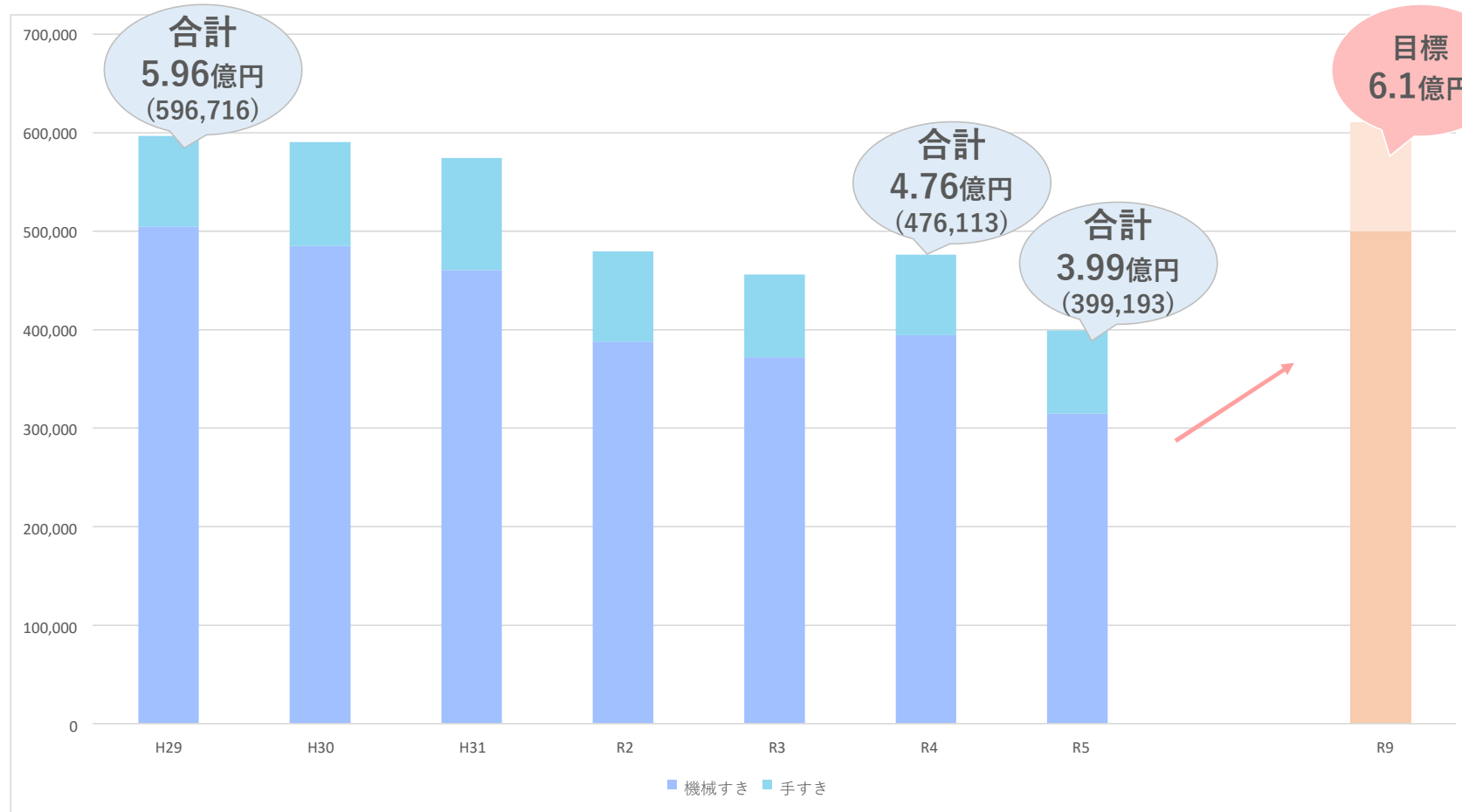
用具で困っていること	
------------	--

原料入手で困っていること/ 買い付け先(農家)さんの状況	
---------------------------------	--

土佐和紙生産量調査結果について

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5		R9（目標）
手すき	91,916	105,585	113,960	91,755	83,872	81,742	84,407		110,000
機械すき	504,800	484,906	460,383	387,752	372,044	394,371	314,786		500,000

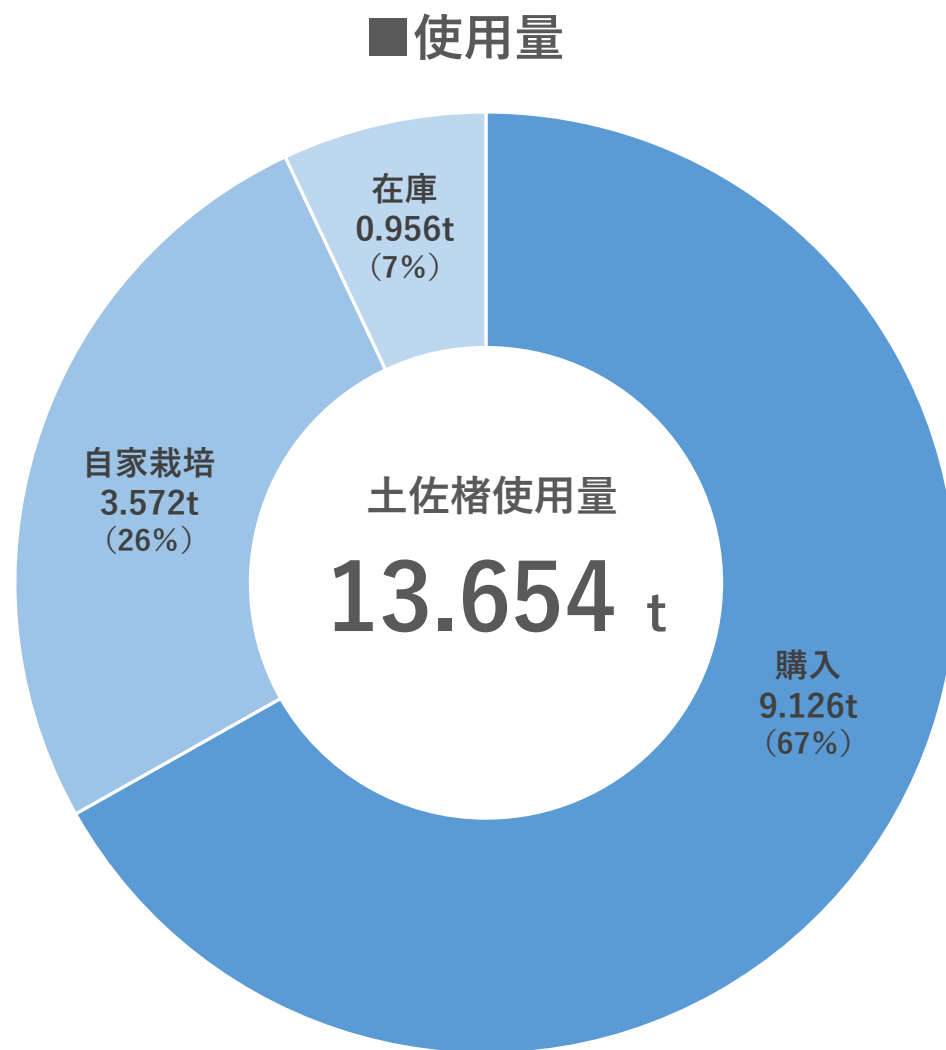
単位：千円



【傾向】

- ・ 機械すき事業者（2社）の廃業等に伴い、販売額が大幅に減少
 - * 廃業した2社の販売額：△約40,000千円（R4実績）
 - * 機械すきの1事業者で売上が大幅減（△約70,000千円：問屋など、得意先からの受注が減少）
- ・ 一方で、半数の事業者がR4と比較して売上が増加（11/22社）
 - * （機械すき）修復紙の取引額（海外向け）
 - * （機械すき）リサイクルペーパー（デニム繊維など）といった、新しい和紙の取引も発生
 - * （手すき）13社のうち7社が増加に転じているものの、コロナ禍（R2）に売上が落ち込んで以降、コロナ禍前まで回復には至っていない（得意先からの受注をメインに横ばいに推移）

土佐楮の使用量について



*R6土佐和紙生産量調査調べ（工業振興課）

*黒皮換算

■ 在庫量



+

α

（大凡の感覚値のみで、推計量を正確に把握できなかった数社分）

【傾向】

- ・ 自家栽培量は、栽培を辞めた楮生産者から一部の和紙生産者が引き継いで栽培を行っているが、これ以上、楮畑を管理するのは厳しい？（手一杯）
→これから自家栽培の量が劇的に増える見込みは薄い
- ・ 原料が手に入りにくく、徐々に在庫消費が増えているケース有り
（既に、在庫が無くなったという和紙生産者あり）

土佐楮栽培の現状について

従来



現在



楮畑を承継、栽培



*余剰分は、原料商、和紙生産者へ供給している。
▶楮農家の役割を担っている。

*個々の和紙生産者の取り組みに留まっている
(これ以上の楮畑の承継難しい)
▶自家栽培による負担が大きい



01 令和6年度の取り組みの進捗の報告について

KPI達成状況について

目標の全体像



K P I の達成状況

*7/31時点

	KPI	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計	目標値	達成率
基本方針Ⅰ	(1) 土佐楮の供給量 (=使用量) : 30t/年以上	13.654	0	0	0	0	0	30t/年	-
	(2) 原料生産持続化の取り組み件数 : 5 件以上	1	0	0	0	0	0	5件	20%
基本方針Ⅱ	(1) 長期研修修了生 : <u>3名以上</u> ※(数字)は短期研修修了生	(1)	(2)	0	0	0	0	3名	0%
	(2) 県指定文化財である和紙の新たな 技術保持事業者数 : <u>2 事業者以上</u>	0	0	0	0	0	0	2 事業者	0%
基本方針Ⅲ	(1) 新商品開発件数 : <u>40件以上</u>	24	4	0	0	0	28	40件	70%
	(2) 見本市や商談会等への参加事業者数 : <u>延べ60事業者以上</u>	27	5	0	0	0	32	60件	53%
	(3) PR実施件数 : <u>60件以上</u>	20	4	0	0	0	24	60件	40%



01 令和6年度の取り組みの進捗の報告について

基本方針毎の取り組みについて

基本方針Ⅰ 原料づくり__全体像

【施策】	【取り組み】	【概要】	【やること】
(1)持続可能な原料生産の仕組みづくり	①楮生産に関する調査・提案	・和紙職人へ、土佐楮の年間使用量、購入量、在庫量、自家栽培量など、多項目で調査 ・その他、情報交換、土佐楮使用に繋がる取組の提案等	①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] ・土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを行い、土佐楮使用実態の把握と分析を行う。 ・土佐楮使用に繋がる情報交換、取組の提案を行う。 ▶生産量調査の報告のとおり *活用できそうな補助制度の掘り起こしが必要??
	②楮生産者への調査・提案	・楮生産者へ、土佐楮の生産量、作業形態、販売先、販売価格など、多項目で調査 ・その他、情報交換、持続的な楮栽培に繋がる取組の提案等	②楮生産者への調査・提案 [環境農業推進課] ・県内産楮の生産量、栽培状況等の聞き取りを行い、まとめと分析を行う。 ▶土佐楮の生産量調査開始（7～8月） *9～10月 取りまとめ
(2)原料生産の効率化	①生産効率化のための支援	・機械化など、作業工程の効率化に繋がる取組を楮生産者等へ提案	①生産効率化のための支援 [全員] ・楮生産工程の効率化（機械化）に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。 ・導入支援策を協議し、検討する。 ▶上東を愛する会（いの町）へヒアリングを実施 *文化庁補助金を他楮生産者へ周知等を行う
	②作業確保のための支援	・農福連携など、作業の分業化等に繋がる取組を楮生産者等へ提案	②作業確保のための支援 [全員] ・農福連携等、楮生産の作業確保に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。 ▶上東を愛する会へヒアリングを実施

基本方針Ⅰ 原料づくり

(2) 原料生産の効率化

①生産効率化のための支援	・機械化など、作業工程の効率化に繋がる取組を楮生産者等へ提案	①生産効率化のための支援 [全員] ・楮生産工程の効率化（機械化）に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。 ・導入支援策を協議し、検討する。
②作業確保のための支援	・農福連携など、作業の分業化等に繋がる取組を楮生産者等へ提案	②楮生産者への調査・提案 [環境農業推進課] ・県内産楮の生産量、栽培状況等の聞き取りを行い、まとめと分析を行う。 ▶上東を愛する会へのヒアリング * 県内唯一のグループで補助金（文化庁）を活用している楮農家（上東を愛する会）から現状等を聞き取りを実施。

①分業化等の支援、②作業の機械化等の支援

■上東を愛する会へのヒアリング

(前回までのおさらい)

・上東を愛する会 T氏

⇒ 1/31 クリーンアグリ視察時に、

楮用裁断機（収穫束をまとめて裁断する刃物）に関心

⇒文化庁補助金（現在も当該団体で活用）含め調達に向けた提案を行った

▶楮用裁断機 現時点では導入しない

＝現在使用している道具で当面对応していく意向

(上東を愛する会について) *任意団体

・楮生産をメインに行っておらず、地域の憩いの場として、楮栽培以外にも、酒米の耕作、スティールパン（ドラム缶楽器）など様々な活動を行っている。

*楮生産においては、文化庁補助金を活用

・平均年齢：65歳程度

・作業数：約10名 ・活動頻度：月に1回程度

(文化庁補助金について)

・名称：芸術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業国庫補助

・趣旨：美術工芸品の保存修理に必要な用具、原材料を継続的に確保、供給するために必要な経費（修復紙用和紙の原料確保に係る経費）

・補助対象：草刈り、用具原材料確保（へぐりなど）等に係る報償費、旅費、備品購入費等

・補助率：50%（個人or従業員20名以下の事業者：70%）



T氏

・主な作業は夏（草刈り）と冬（刈り取り&蒸し剥ぎ）
⇒夏の草刈りは、シルバー人材センターを活用

・作業者には、賃金を支払っている。（ボランティアなどの無償作業はなし）

・収量は黒皮60貫程度で収益は黒字（文化庁補助金の存在が大きい）

・土佐楮を使用している和紙生産者などへの支援があると、和紙が売れる ⇒土佐楮が必要 ⇒原料生産が守られる

基本方針Ⅱ 担い手づくり__全体像

【施策】	【取り組み】	【概要】	【やること】
(1)研修受入れ体制の構築	①研修生の受け入れ環境づくり	・補助制度を活用し、後継者育成を支援 ・個々の工房での受入れではなく、複数人講師の協力による受入れ体制づくりを支援 ・研修プログラムの構築も支援 (短期約1ヶ月、長期約2年)	①研修生の受け入れ環境づくり〔工業振興課、土佐市、いの町〕 ・【短期研修】複数人指導体制での短期研修を実施（2件予定） ▶土佐市で短期研修を実施（2件） ・【長期研修】和紙生産者なども交え、研修プログラムを協議 ▶長期研修の候補生現る（R7年度からの研修実施に向けた体制構築）
	②研修生の掘り起こし	・研修生募集に向けた情報発信 ・研修生確保のため、地域おこし協力隊制度の活用など	②研修生の掘り起こし〔工業振興課、土佐市、いの町〕 ・土佐和紙振興事業にて、将来の研修候補生獲得を目指し、進捗を定期的に共有・協議する。 ▶産地留学に向けて体験プログラム等について調整中 *12/14～15、2/13～14 の2回実施予定 ・地域おこし協力隊インターンシップ(いの町)にて土佐和紙に触れる機会を確保。インターンシップ参加者数やアンケート結果などを共有し、取り組み方を協議する。 ▶いの町において準備中（8～12月に実施予定） *2週間で4人の受け入れを予定
	③用具確保対策	・県内紙漉き職人の用具メンテナンスにおける課題把握と対策 ・文化庁の補助事業を活用し、用具製作技術者の育成支援 ・用具製作の受注機会の創出	③用具確保対策〔工業振興課、土佐市、いの町〕 ・県内の引退した職人が使用していた用具を収集。研修用の用具としての利活用を調整する。 ▶活用できそうな道具について、一部有益な情報あり
(2)土佐和紙の技術保存の方法等の構築（ユネスコ登録等）	①土佐和紙保存会の活動支援	・土佐和紙保存会会員の技術研修などの活動を支援 ・技術保持団体設立(その先にユネスコ登録)の検討 =*ユネスコ登録の前提となる「国の重要無形文化財」指定に向けて、国指定の要件である「技術保持団体」の設立を検討	①土佐和紙保存会の活動支援〔歴史文化財課〕 ・重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有。 ・研修カリキュラムの作成、共有。 ・技術保持者の育成研修用の用具の確保 =用具発注1セット（簀桁：土佐清帳紙） ▶用具製作者側の事業等により、R6での用具製作は行わない

基本方針 2 担い手づくり

(1)研修受入れ体制の構築	①研修生の受け入れ環境づくり	・補助制度を活用し、後継者育成を支援 ・個々の工房での受入れではなく、複数人講師の協力による受入れ体制づくりを支援 ・研修プログラムの構築も支援 (短期約1ヶ月、長期約2年)	①研修生の受け入れ環境づくり [工業振興課、土佐市、いの町] ・【短期研修】複数人指導体制での短期研修を実施（2件予定） ▶土佐市で短期研修を実施（2件） ・【長期研修】和紙生産者なども交え、研修プログラムを協議 ▶長期研修の候補生現る（R7年度からの研修実施に向けた体制構築）
---------------	----------------	--	---

①研修生の受入れ環境づくり

【短期研修】

@土佐市 → 研修受入先_I手漉き工房

- ・複数人指導体制での短期研修を実施（2件）
*今後も短期研修実施予定あり

【長期研修】

- ・R6短期研修の研修生（現在、研修中）から、R7年度での長期研修の希望
*長期研修を見据えた短期研修を実施中
*（実現すれば）親類縁者以外での長期研修は初のケース
- ・その他、県外の方から長期研修についての問い合わせあり

▶今後も委託事業での産地留学(※基本方針3で説明)など、研修生の掘り起こしを実施していく！
R7年度からの長期研修実現に向けて、指導体制づくり（長期的な複数人指導）や研修場所確保について、具体的に進めていく。

(1) 研修受入れ体制の構築	③用具確保対策	・県内紙漉き職人の用具メンテナンスにおける課題把握と対策 ・文化庁の補助事業を活用し、用具製作技術者の育成支援 ・用具製作の受注機会の創出	③用具確保対策 [工業振興課、土佐市、いの町] ・県内の引退した職人が使用していた用具を収集。研修用の用具としての利活用を調整する。 ▶活用できそうな道具について、一部有益な情報あり
----------------	---------	---	---

③用具確保対策

■生産量調査等で和紙生産者等へ聞き取り

▶活用できそうな道具について、一部有益な情報あり

*竹ひご職人 O氏 自宅に使用していない簀桁あり

(竹ひご職人O氏より)



・元和紙職人であったため、当時使用していたものや、引退した知り合いの和紙職人から譲ってもらったものを保管している。
⇒譲ることは問題ない（価格等は要相談）

・中古の簀桁を探す際は、簀桁のセットで探さないため。
*桁ごとのサイズに合わせて簾が制作されているため



▶（要協議）

*いの町貸出し用の簀桁を、研修用として活用することについて

(生産量調査での意見)



・いの町の貸出し用の簀桁を研修用として使用できるのでは？
仕事道具としては使用が難しいが、研修用であれば十分できると思う
*サイズも2×3判程度（少し修理が必要かも？）

基本方針Ⅲ 付加価値づくり__全体像

【施策】	【取り組み】	【概要】	【やること】
(1)商品開発の推進	①新商品開発マッチング支援	・新商品の開発を支援し、土佐和紙の需要の拡大と高付加価値化を目指す	①新商品開発の支援 [工業振興課] ・土佐和紙振興事業にて、全国から新たな和紙づくりにつながるアイデアを募集。集まったアイデアは和紙生産者等へ共有。 ▶土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト 募集開始 *応募期間：7/11～11/5 (審査会：11月末予定)
	②技術面での支援	・紙産業技術センターの設備やノウハウを活用し、商品開発を支援	②技術面での支援 [紙産業技術センター] ・センターの設備やノウハウを活用して商品開発を支援、情報共有。 ▶4件 (相談件数：10件)
(2)見本市や商談会等への参加	①国内展開への支援	・県内外で実施される見本市や商談会への出展を支援 ・日曜市など定期の販売機会も活用	①国内展開への支援 [全員] ・国内見本市等の情報収集、出展支援策について協議する。 ▶産業振興センター支援_国内見本市等へ出展 *機械すぎ：3社 (下半期も出展予定有り) ・和紙生産者への日曜市出店を積極的に声がけする。 ▶日曜市へ順次準備出店予定 *7/14 (Iさん：手すぎ)、9/22 (Oさん：手すぎ)、29 (株I：機械すぎ)
	②海外展開への支援	・海外での展示会への出展検討・実施 ・海外への販路開拓へ向けたテストマーケティング事業を検討・実施	②海外展開への支援 [全員] ・海外展示会等の情報収集を行い、出展支援策について協議する。 ▶クレアパリ「伝統と先端と」出展支援 *1社出展 (株M：機械すぎ) ・イタリア修復紙テスト ▶テスト継続中 (サンモアペーパーを追加で送付)
(3)土佐和紙のPR (土佐和紙文化発信含む)	①情報発信の強化	・PRツールの作成、運用 ・WEB、SNS等で情報発信	①情報発信の強化 [全員] ・WEB、SNS等での発信を継続し、共有する。 ※関西アンテナショップ開業に合わせ、土佐和紙の展示調整を進める ▶関西アンテナショップでの展示に向けて、準備中 *9/7、8開催のイベント体験コーナーにて、土佐和紙キャラバン開催予定
	②イベントの開催・参加	・県内外で開催されるイベントへの出展 ※大阪・関西万博でのPR ※トリエンナーレ展開催 ・学校、地域向け体験イベント等の支援	②イベントの開催・参加 [全員] ・各種開催されるイベントについて、情報共有・協議を行う。 ※四国経済産業局オープンファクトリー連携を支援。 ▶四経局で、オープンファクトリーの説明会開催を準備中。 ※トリエンナーレ次回展に向けた課題整理を行い、開催企画案をまとめる。 ▶紙とあそぼう作品展開催中 (7/23～8/18)

(1)商品開発の推進	①新商品開発マッチング支援 ・新商品の開発を支援し、土佐和紙の需要の拡大と高付加価値化を目指す	①新商品開発の支援〔工業振興課〕 ・土佐和紙振興事業にて、全国から新たな和紙づくりにつながるアイデアを募集。集まったアイデアは和紙生産者等へ共有。 ▶土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト 募集開始 *応募期間：7/11～11/5（審査会：11月末予定）
------------	---	---

①新商品開発マッチング支援

▶R6年度 県&土佐市・いの町の委託事業本格開始

2つの部門で、産地留学の募集開始！

★土佐和紙アイデア部門

- ・「自分が使いたい和紙、またはハンドメイド作家やインテリアコーディネーターが使いたくなる新しい和紙のアイデア」という、和紙のアイデアを集めるもの。
- ・素材としての紙に、利用者目線でこういったニーズが隠れているかを発見できる可能性。

集まったアイデアは、和紙生産者をはじめ関係者の皆様に共有いたします。

入賞者の中から8名を高知県へ産地留学にご招待！

土佐和紙

デザイン&アイデア

コンテスト

応募期間 2024年7月8日(月)～11月5日(火)

応募・詳細は こちら

ポスターデザイン部門

産地「いの町・土佐市」に訪れたくなるような土佐和紙のPRポスターを募集します。

＜募集要項＞
・サイズ：A3
・イラスト、写真などデジタルは可
・選定が決定する土佐和紙や産地の写真素材を使用しても構いません。詳しくは募集ページをご覧ください。

土佐和紙アイデア部門

自分が使いたい和紙、またはハンドメイド作家やインテリアコーディネーターが使いたくなる新しい和紙のアイデアを募集します。

＜募集要項＞
・和紙の「色紙」「デザイン（絵を描く）」、「中に素材を入れる」など、和紙加工の考案は自由です。
・形式自由。下記をA4サイズ3枚以内で提出してください。
①和紙のデジタルイメージが分かるもの（イラストや写真）
②和紙の仕様、使い方が分かる説明

審査員

審査は、土佐和紙の職人さんと各分野で活躍する3名の審査員の方にご協力いただきます。入賞作品を決定いたします。

株式会社ビームス
プロダクト本部 ビームスジャパン課
シニアクリエイティブディレクター
鈴木 修司

株式会社 伊東屋
商品開発部 商品開発課
バイヤー マネージャー
真松 勝子

metromm. スターツ出版株式会社
メトロミニック編集長
(前 OZmagazine 編集長)
古川 誠

受賞特典

産地留学へご招待！
グランプリ、準グランプリ入賞者は、高知県内の土佐和紙の工場見学や仕事体験、職人との交流を行う2日間の産地留学にご招待！(12月中旬予定)

入賞特典
グランプリ（各部門1名）：クリエイターの事務所滞在費（40,000円程度）
準グランプリ（各部門3名）：和紙を使ったお土産（20,000円程度）
審査員特別賞（各部門2名）：かわいらしい和紙小物（4,000円程度）

作品の取り扱いについて
ポスターデザイン部門
グランプリ作品は、オービズ賞典賞状、いの町の産物館、土佐和紙工務店に展示します。
土佐和紙アイデア部門
応募いただいたアイデアは、土佐和紙の事業者にフィードバックされ、商品化される可能性があります。

土佐和紙の産地

日本三大和紙のひとつである土佐和紙。"七波ブルー"と称される清流・仁淀川の水の恵みを受け、土佐市・いの町などの流域で受け継がれてきました。

観光協会ホームページ
土佐市 いの町

主催 高知県 共催 土佐市 いの町 運営 ニッポン手仕事振興会「土佐和紙アイデアコンテスト」事務局
Email: info@nippon-teshigoto.jp
Tel: 03-6805-3095

(1)商品開発の推進	②海外展開への支援	・海外での展示会への出展検討・実施 ・海外への販路開拓に向けたテストマーケティング事業を検討・実施	②海外展開への支援【全員】 ・海外展示会等の情報収集を行い、出展支援策について協議する。 ▶クレアパリ「伝統と先端と」出展支援 *1社出展（株M：機械すぎ） ・イタリア修復紙テスト ▶テスト継続中（サンモアペーパーを追加で送付）
------------	-----------	--	---

②海外展開への支援

▶クレアパリ「伝統と先端と」(株)Mさん出展 ・R5年度の展示販売レポートより共有

(R5出展品)

コミュニケーションファイル
(A4サイズ) /Kaminication File
(A4) 2枚入



¥900 € 4

コミュニケーションファイル
(A5サイズ) /Kaminication File (A5) 2枚入



¥800 € 2

土佐和紙扇子 Ori/Washi Fan
Ori



¥10,000 € 80

Ori おりがみ (12枚入)
/Origami (12 sheets)



¥800 € 4

和紙のテーブルマット (6枚入) /Washi tablemats
(6sheets)



¥1,000 € 5

和紙のテーブルランナー (麻の葉)



¥1,000 € 4

【コミュニケーションファイル】

「透明のファイルや分厚い紙でできたファイルが一般的なので、このような繊細なファイルは見たことがない。またフランスは文房具が高いので、このような繊細な商品であってこの価格は信じられない。分厚い書類を入れられるマチがあるようなファイルもあれば、迷わず購入したい。全ての面でフランスで需要があるのではないかなと思う。」

【土佐和紙扇子】

「最近は夏に電車の中で扇子を使用する人をよく見かけるが、この商品は繊細すぎて、普段使いにはもったいなさすぎると感じる。使おうとしたらパーティーなど特別な機会に限られるか、部屋に飾っておくタイプの商品ではないか。布製の扇子袋がついているのは持ち運びの際に保護ができてよいアイデア。」

【Oriおりがみ】

「こんな折り紙は見たことがない。とても美しいデザイン。こどもに購入したいと思ったが残念ながら薄すぎてこどもには折るのが難しそう。折る以外に切ったりしても使用できると思うが美しいすぎてもったいないと感じる。どちらかというと大人向けの商品か。」

【和紙のテーブルマット・テーブルランナー】

「和紙のテーブルクロスという発想が素晴らしいと感じた。透かし模様のデザインが美しく、撥水性もあるので実用的。何よりこの価格で購入できることに驚いた。テーブルクロス以外にも包装紙として使用しても良さそう。半透明なので色のついた紙と重ねて使用しても美しくなりそう。」

(1)商品開発の推進	②海外展開への支援 ・海外での展示会への出展検討・実施 ・海外への販路開拓に向けたテストマーケティング事業を検討・実施	②海外展開への支援〔全員〕 ・海外展示会等の情報収集を行い、出展支援策について協議する。 ▶クレアパリ「伝統と先端と」出展支援 *1社出展（株M：機械すぎ） ・イタリア修復紙テスト ▶テスト継続中（サンモアペーパーを追加で送付）
------------	---	--

②海外展開への支援

▶クレアパリ主催 R6年度「伝統と先端と」
（株）Mさん続けて出展決定！

（R6出展予定）

カミニケーションファイル
（A4サイズ）/Kaminication File
（A4）2枚入



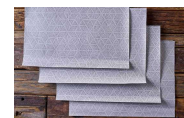
カミニケーションファイル
（A5サイズ）/Kaminication
File （A5）2枚入



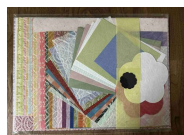
土佐和紙扇子 Ori/Washi Fan
Ori



土佐和紙の壁紙



土佐和紙アソートセット



和紙のテーブルランナー（麻の葉）



R6年度 会場（予定）



｜ディジョン国際美食ワイン館



｜パリ日本文化会館



■（株）Mさんからのコメント

クレアパリの先導もあり、準備については想像していたよりも負担にならなかった。
出展品に対してのフィードバック、売れ残り品の現地引き取りも行っていたため、継続して出展するメリットを感じている。

3)土佐和紙のPR
(土佐和紙文化発信含む)

①情報発信の強化

- ・PRツールの作成、運用
- ・WEB、SNS等で情報発信

①情報発信の強化〔全員〕

- ・WEB、SNS等での発信を継続し、共有する。
- ※関西アンテナショップ開業に合わせ、土佐和紙の展示調整を進める

▶関西アンテナショップでの展示に向けて、準備中

*9/7、8開催のイベントで土佐和紙キャラバン開催予定

①情報発信の強化

▶関西アンテナショップでの和紙（伝産品）展示

- ・JR大阪駅直結KITTE大阪 2 F
7/31OPENの「スーパーローカルショップとさとさ」の
非食品商品の展示コーナーにて、

土佐和紙の展示開始！

(他、土佐打刃物、土佐古代塗、宝石珊瑚、虎斑竹、内原野焼)



▶アンテナショップオープン1ヶ月記念イベント

- ・体験コーナーを設置し、**土佐和紙の体験**を実施。
(手すき和紙！さんによる土佐和紙キャラバン
＝土佐和紙キーホルダー作り体験)



02 次回_PT会（9月開催予定）に向けて

Next

<協議したいこと>

下記について、具体的なアクション・支援策をPT会で協議するのは如何でしょうか??

基本方針Ⅰ_原料づくり

- ・土佐楮の持続化に向けた支援制度の掘り起こし
 - 支援制度（文化庁補助） etc.

基本方針Ⅱ_担い手づくり

- ・長期研修実現に向けた体制構築
 - 講師
 - 研修場所
 - 研修用の用具 etc.

基本方針Ⅲ_付加価値づくり

- ・R7年度の事業案（委託事業）
- ・地域イベントでの和紙の利用機会を創出